研究のお知らせ

2020 年 1 月 31 日

PRESS RELEASE

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

報道機関 各位
（教育・水産業担当）

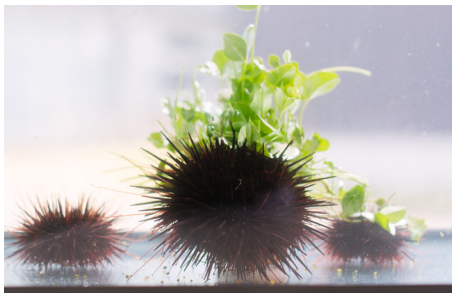
公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ（担当：小野寺大作）
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

クローバーウニの実用化に向けた 3 者共同研究がスタート！

宮城大学
九州大学
×
株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング

本件のポイント

- **共同で技術開発を行っていた宮城県と福岡県を拠点として実施します。**
- **餌となるマメ科植物の安定供給を目指し，宮城大学農場においてクローバー栽培を実施します。**
- **国内への販売だけでなく，国外への販売も視野に入れた市場調査，試験販売を行います。**
- **最終的には，クローバーウニの陸上養殖を目指します。**



全国の沿岸部では，「磯焼け」による「痩せウニ」の発生が起こり，漁業に深刻な被害を与えています。宮城大学および九州大学では，この課題に対応するため，安定して高品質なウニの生産を目指し「海藻の代わりとなる新しい餌の開発」に取り組みました。クローバーなどマメ科植物を餌としてウニを肥育する技術開発に成功し（特許出願中），マメ科植物を餌としたウニの畜養の実用化に向け，株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティングと共同研究をスタートします。実用化に向けた研究として，実際にクローバーを餌としてウニを飼育し，市場調査を行う予定です。今後はコスト面の検討，販路の検討を行い，実用化に向けて取り組みます。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング
担当：津田，土合
〒986-0827 宮城県石巻市千石町 8-20
TEL 0225-98-7071　Email info@fishermanjapan.com

研究のお知らせ

2020 年 1 月 31 日

PRESS RELEASE

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

報道機関 各位
（教育・水産業担当）

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ（担当：小野寺大作）
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

■クローバーウニ

陸上に生えるマメ科植物のクローバー（和名シロツメクサ）を約 2 ヶ月キタムラサキウニに給餌したところ，従来の餌であるコンブと同等に可食部である生殖巣が成長するという結果が得られました。商品価値の基準となる生殖巣の色彩もコンブに比べてより鮮やかな色であり，味に関わるアミノ酸や脂肪酸などの成分についても同等の値を示しています。
餌となるクローバーはほぼ 1 年中どこでも簡単に栽培可能であり，磯焼け海域の痩せウニを肥育するためだけではなく，海藻がなくなる冬場に身入りの良いウニを生産するための養殖飼料としても期待されます。

http://www.myu.ac.jp/academics/news/folder003/1955/

■株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティングとは

水産業を新 3K（カッコよくて，稼げて，革新的な）産業に変革することを目的に，宮城県内の若手漁師・魚屋が 2014 年に設立した『一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン』の販売会社。
国内外への水産物の販売，飲食店経営，水産コンサルティングなどを手掛ける。またテクノロジーを駆使した次世代型の水産物の生産，流通システムの構築への研究開発も進めている。
http://fishermanjapan.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社 フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング
担当：津田，土合
〒986-0827 宮城県石巻市千石町 8-20
TEL 0225-98-7071　Email info@fishermanjapan.com